

第1回新宿区障害者施策推進協議会専門部会 ご意見の抜粋

令和8年4月16日(木)

午後2時～4時

1 新宿区障害者生活実態調査の調査結果について(今回の「資料1」に関連)

○調査結果分析に関連すること

- ・今回の報告書に新しく記載された、「強度行動障害」の解説文が参考になった。
- ・障害者差別を恐れて、本人が委縮しているケースが多い。当事者は、「自分が差別を受けるのでは」という思いが強い。

2 障害児福祉計画・障害福祉計画の策定について
(今回の「資料4」「資料5」に関連)

○国の成果目標に係る指針に関すること

- ・障害福祉計画における国の指針に、施設入所者の地域移行に関する目標がある。併せて、「親なき後」を踏まえて、グループホームへの入所を希望する方がいらっしゃることも考えると、地域での受け皿となるグループホームは今後も必要なのではないか。

○その他

- ・障害児の保護者が仕事をしていることが多い。そういった方々の就業が継続できるように、引き続き取り組んでほしい。

3 障害者計画に基づく事業について(今回の「資料2」「資料3」に関連)

○障害者差別解消について

- ・障害者差別解消法の改正により、民間事業者における「合理的配慮」(※)の提供が義務化された。一部の中小企業においては、取組が困難な状況にあることも考えられるが、区内で合理的配慮に関する取組を一層進めるため、取組について何らかのアピールする機会を作っても良いのではないかと。

(※)障害当事者から、「社会的なバリアを取り除いてほしい」という意思が示された場合に、その実施に伴う負担が過重でない範囲で、バリアを取り除くために必要かつ合理的な対応をすること。

○災害への対応について

- ・首都直下型地震がそのうち発生すると前々から言われており、最近では富士山噴火に備えた国の会議体に関する報道等もあった。個別避難計画の作成や、発災時の障害者の避難所での受入等、災害対策を引き続き進めてほしい。